

芸術専修

# 音楽分野

小学校  
コース

中学校  
コース

## 音楽と子どもたちを取り結ぶ教師を目指して

音楽分野では、音楽の専門的な知識・技能と教育への深い理解、そして指導力をあわせもつ教員の育成を目指しています。ピアノ、声楽、管楽器、和楽器、指揮等のさまざまな実技のレッスン、西洋音楽史や音楽民族学の講義を通じて音楽そのものの専門性を高めつつ、音楽科教育に関する方法論、歴史、今日的課題についても学習を深めていきます。模擬授業を通じて実践的な知識の涵養もはかります。3年次以降のゼミ活動では、少人数に分かれ、それぞれがさらに専門的に各分野を研究していきます。

音楽分野での充実した学びを経て、多くの卒業生が、県内外の学校教育・音楽に関わるフィールドで活躍しています。「心より出でて 心へ届かんことを」ベートーヴェンが荘厳ミサ曲の冒頭にそう書いたように、音楽を人の心と心の架け橋にできる、音楽と子どもたちの心を取り結ぶことのできる教員を志してほしいと、私たちは願っています。

### こんな授業 こんな研究

小野 和彦 准教授

「音楽室にピアノがない」という学校に通った人はあまりないでしょう。一方、音楽の先生の歌声を聞いて「人間の声は造物主の創った最高の楽器だな、西洋音楽の根源だ、これを模倣しながら器楽は発展したのだな」と思った人も少ないかと思えます。前者は当たり前のことで、後者は夢物語に聞こえることでしょう。それでも、西洋音楽の歴史を紐解けば、後者も当たり前……は難しくとも、それが夢物語になって欲しくはないと思えてきます。そのために、必修の声楽演習はその最高の楽器の組み立て方、使い方を中心に学ぶ授業にしています。声を出す体の仕組みを学ばず、それをどう使えばどんな声が出るのかを知らずに「私は声が悪い、歌が苦手」というのは早すぎます。科学的な根拠があり、歴史上の名人の技と共通点を持ち、将来生徒を教える時に役に立つ、再現性の高い方法で声を出し、歌う方法を学んでいければと思います。



### 専任教員

- 小野 和彦 声楽
- 竹澤 栄祐 器楽(フルート・指揮法)
- 東浦 亜希子 器楽(ピアノ)
- 森 薫 音楽科教育

### 主な授業科目

初等音楽科指導法、中等音楽科指導法、ソルフェージュ、合唱演習、声楽演習、器楽演習(日本の伝統的な楽器、金管楽器、打楽器)、ピアノ演習(伴奏を含む)、木管楽器演習、合奏、指揮法概説、西洋音楽史、日本音楽史、音楽民族学、作曲(編曲法を含む) 他



合奏の授業から



日本の伝統的な音楽を学ぶ



合唱の授業から

STUDENT'S  
VOICE



3年生  
岡崎 優衣

あなたは、今どのように音楽と関わっていますか？ 楽器の演奏に日々取り組んだり、好みの音楽を聴いたりしているかもしれません。音楽分野では、幅広い音楽の知識や技能だけでなく、音楽教育に関する歴史、今日的課題、そして授業実践の仕方を深く追求することができます。また学生が音楽に対して熱い想いをもち、それぞれ練習室で練習したり、先輩や後輩と交流したりしています。美しい音色が響き渡るこの校舎で、私たちと音楽と教育について学んでいきましょう。